



# WASLI

World Association of  
Sign Language Interpreters

## Newsletter December 2022

### WASLI2023

基調講演担当者を喜びとともに  
お知らせします。

#### 第1日基調講演

回復の早い未来を形作る：  
アフリカの進む道は？

レオニダ・カウラ

ワシントン・サティ

#### 第2日基調講演

韓国:時間、社会の多様性、  
そして手話通訳支援の旅路

スン・イルビュン

アン・ソクジュン



#### 第3日基調講演

韓国における盲ろう者と手  
話通訳者の協同

リディア・コウ

セウォン・ヨン



**WASLI CONFERENCE 2023**  
SHAPING OUR WORLD FOR A BETTER FUTURE  
JEJU ISLAND, KOREA  
5 - 9 JULY 2023

### 早割申込締切2023年12月31日

2023年はすぐそこです。つまりWASLI大会の時期が迫っています。韓国済州島でのWFD（世界ろう連盟）会議の直前にアジアにいることはワクワクします。近隣からまた遠方から世界のいたるところから皆様をお迎えするのが楽しみです。

ご想像の通り、準備は裏方ですでに始まっています。そのハイライトをいくつかお伝えします。世界中からの寄与がより分かりやすいプログラムはすでに発表されています。

[WASLI 2023 プログラムはこちら](#)

大会3日間の基調講演についての情報もあります。

申込の早割締切が迫っています。

大会の登録はこちら:

[WASLI2023大会登録](#)

## WASLI ウェブ開発

副会長スーザン・エマーソン

刷新されたWASLIのウェブサイトは2023年1月に公開予定です。

WASLIウェブ開発 IS版はこちら

スーザン・エマーソンとアルナス・ブラジンスカスは5か月間、ろうのウェブ開発者であるカナダ出身のクリスティー・ホエクセマと相談してきました。



そして、機能、コンテンツ、アクセシビリティに重点を置き、ウェブサイトの範囲を慎重に決めました。

私たちはより使いやすい、吉視覚的な、より多くの手話機能を備えたウェブサイトの草案に満足しています。

新しいウェブサイトの公開にご注目ください！

## WASLIへの寄付を

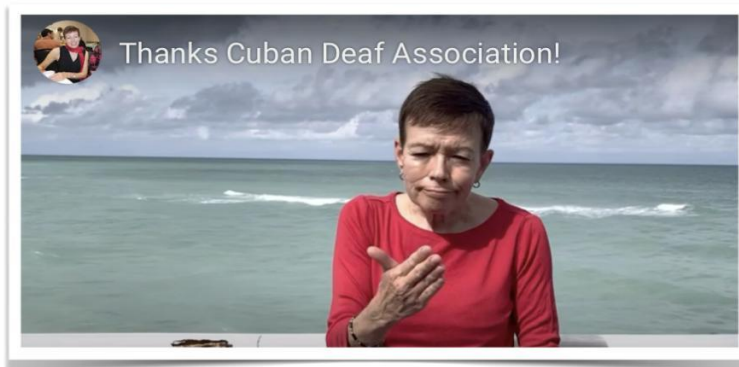
WASLIへのギフトは1年じゅう贈ることができます！

PayPalの寄付ボタンから寄付をすることができます

[wasli.org/donation](https://wasli.org/donation)

または銀行振り込みで寄付してください- その場合は会計係までご連絡ください。

## 第4回WASLIラテンアメリカ及びカリブ海地域(LAC) 大会報告 2022年11月15日-18日



### LAC大会報告(IS)

WASLI 代表 名誉会長 デブラ・ラッセル博士

ミリアム・メネセスとキューバろう連盟のボランティアチームが対面参加、オンライン発表や報告を懸命にしてくださいました。感謝申し上げます。

大会に出席して「我々の通訳世界—変化、課題、創造的機会」と題する開会基調講演を発表しました。我々の通訳活動は世界的感染のために劇的な変化を遂げ、多くのイベントで実質的に通訳サービスを提供している一方で、私たちが深く関わっている地元及び全国的なろう者の皆さんとのつながりを失ってはなりません。

大会は、基調講演に続いてご自身の発表をしていましたが、手話のろう教員と通訳者の発展に焦点を絞った通訳者の皆さんとの協同の素晴らしい実例でした。大会を通じて23の発表とWASLIの国会員からの地域報告がありました。

またほかに3つの基調講演もありました。スペインのレイコ・H・ゴンザレス・モンテシノス博士はスペインの手話通訳者が使う戦略について、メキシコのレネ・ゴンザレス・ブエルト博士はバイリンガルのろう教育について、WASLIのコロンビア代表マルセル・ガルシア・ヘルナンデスは倫理について発表しました。発表者の皆さん、皆さんの研究洞察を提示してくださり、また我々の脳を刺激してくださってありがとうございます。

勤勉なLAC地域の指導者の皆さん、ろう協会と共同し偉大なことを成し遂げる強い組織を作る継続した尽力に感謝申し上げます。

## ISAAB – 新委員長

ISAAB新委員長の就任を発表いたします。:



キャロル・リー・アクイライン

キャロル・リーはWFDとWASLIの認定国際手話通訳者であり、米国および世界中で通訳者として長年の経験を持っています。

### 次のステップは何ですか？

キャロル・リーは

この役職につき、WASLIオフィスと協力して、年に2回の応募募集を確実に実行できるようにします。

ISAABはWFDとWASLIの代表者で構成されています。ISAABの一員として働く認定通訳者と準認定通訳者を採用することが、ISAAB委員長の目標となります。

さらに、方針を見直し、更新していきます。そして最良の事例の推進と認定された国際手話通訳者の契約をより広範に推進します

質問があれば、キャロル・リーのアドレスまでご連絡ください

[is.accred.wasli@gmail.com](mailto:is.accred.wasli@gmail.com)

多くのハイライトがありましたが、(WASLIのFacebookやTwitterをご覧ください)。ベネズエラの同僚の皆さんの仕事は飛びぬけていると感じました。政府、ろう協会、通訳者と共同し、ベネズエラ手話は今やベネズエラ憲法で第2言語となっており、それはろう者がサービスにアクセスするより大きい機会、そして特によく訓練された手話通訳者の必要性につながっています。

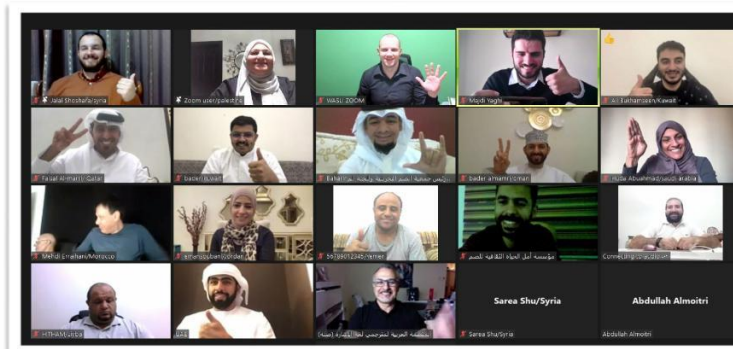
大会には、キューバ、カナダ、パナマ、メキシコ、スペイン、コロンビア、グアテマラから手話通訳者やろうの手話教員が参加していました。パラグアイ、ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ、チリ、コスタリカ、ウルグアイ、ドミニカ共和国もオンライン参加で、ハイチは不参加でしたが、報告を受け取ることができました。

国際手話通訳者のチームが対面及びオンラインで素晴らしい通訳をこなしてくれました。インターネットの不具合にもかかわらず、個の学びとやり取りにアクセスすることができました。ボランティアで貢献したくださった方々、本当にありがとうございました。

次回の大会は、アルゼンチンのブエノスアイレスです。

お会いできることを願って!

## アラブ地域手話通訳者会議



### アラブ地域報告 IS版

アラブ地域代表のマイディ・ヤギ氏は次のように報告しています。アラブ地域は活発で、最近アラブ語圏22か国のWhatsAppグループを立ち上げました。22か国のうち19か国の代表者がすでに参加しています。

## ISO 専門家グループ

ISO専門家グループは引き続き、技術委員会（TC）37の活動や「言語と用語」に関連する規格に取り組んでいます。私たちは、手話通訳の専門家や代表者と共に他の関係者と対話をしてきました。

### TC 37の仲間

幸運なことに、名誉会長のデブラ・ラッセル博士と欧州地域代表のクリスチャン・ラスマン博士は、いずれも標準化委員会の委員を務めています。

### TC 37 年次総会

WASLIは2023年6月11-17日にブリュッセルで開催されるTC37の対面会議に参加したいと考えています。フォーラムでの目標を推進するために、AIIC SLNだけでなく各国の標準化委員会の委員ともこの場で連携できることが理想です。

### ISO専門家グループに参加できますか？

暫定議長のサミュエル・チュー氏らの任期が終了するため、専門家グループの一員として働いていただけの「専門家」を募集しています。

興味がおありのかたは、次のアドレスまでご連絡ください：

[secretary.wasli@gmail.com](mailto:secretary.wasli@gmail.com)

直近の会議では、国内のろうコミュニティの人口統計、通訳の提供、通訳サービスの提供、支払い方法、プロの通訳者数（ろう者・聴者）や、リモート通訳サービスについても議論しました。

ディスカッションは数時間にわたって行われ、多くのろう者がディスカッションに参加したのは良かったと思います。これを契機として、次回の会合では、「ろう通訳とは」をテーマに2時間半のトレーニングワークショップを開催することになりました。

また、この場を借りてWASLIのろう通訳アドバイザーのアルナス・ブラジンスカス氏に感謝します。彼の支援、アイデア、アドバイスのおかげで、ズーム会議の円滑な運営ができました。このコラボはろう通訳としての私にも非常に有益なものでした。

アラブ地域はWASLIの支援をえて力強く発展していくことを願っています。

## EAASLI



### EASSLI報告 (IS)

次の地域の通訳コミュニティによって新しい地域協会が設立されました。

アルメニア、アゼルバイジャン、ロシア、ウズベキスタン、キルギスタン、タジキスタン、ベラルーシ、ジョージア、ロシア、ウクライナ

本部をアルメニアのエレバンに。ユーラシア手話通訳者協会

手話通訳者の権利のためにコミュニティが協力して行動し自治体の意見を聞くことができるようになるため、各国の通訳コミュニティを統合しその発展を現地で支援することを基本理念としています。リリヤ・イオニチュフスカヤが協会の会長に選ばれました。協会はWASLIの会員になる意思を表明しました。

## 選挙 2023

済州島で行われる定期総会では下記の役員選挙を実施します。

### 理事：

地域代表理事  
(聴者・ろう者各1名)

### 役員理事：

会長

副会長

会計

事務局

ろう通訳アドバイザー

スイス理事

立候補受付中！

継続して立候補予定の役職もありますが、現在空席の役職もあります。

### 立候補してみませんか？

立候補にはWASLIの国会員による推薦が必要です。

また、

**地域代表理事**は各地域の国会員の投票によって選出されます。

**役員理事**はWASLIの国会員の投票によって選出されます。

ご興味のある方は下記までメールでお知らせください：

[secretary.wasli@gmail.com](mailto:secretary.wasli@gmail.com)

EECAC地域の新しい国別通訳者協会EAASLIはWASLIと私たちEECACの地域のWASLI代表の後方支援により、12月に最初の会議を開催しました。彼らはまたアンナ・コマロワ氏をしのぶひと時を過ごしました。

## WASLI 2022 – 会長レポート

### 会長レポート（国際手話）

ロックダウンから抜け出して、広い世界に再び関わり始めたことは、WASLIにとって興味深いものでした。理事会は、当会の日々の業務についての会合を毎月続けています。

スイスに移転し、法的所在地を確立したことで、スイスを拠点とするオフィスサービスのさらなる関与が可能になりました。私たちは、WASLIの体制の改善のため、会員管理、銀行業務、ISAAB サポート、および WASLI 会議等の整理を続けています。これには、有償で管理業務を行うための IDA との契約書が含まれます。

その業務をより適切にサポートするために、銀行業務をスイスのポストファイナンスに移しました。これには、クレジットカード (CHF) と ISAAB の口座 (米ドル) のほか、一般口座 (米ドル) と会議口座 (米ドル) があります。PayPal アカウントは適切に移行されています。今後も、効率的な方法を引き続き模索していきます。

イギリスの HSBC の銀行口座から資金を送金するのに苦慮していますが、この任期中に確実に送金されることを目標としています。これらの資金は、登録者からの収入が予算枠に達する前に、会議をサポートするために必要になる可能性があります。

私たちは、パートナーや他団体からのスポンサーシップを引き続き求めています。サポートも歓迎しています。もし、WASLI を支援して下さる中規模から大規模の多国籍企業についての情報、つながりをお持ちの方は、会計担当のナイジェル・ハワードまでお知らせください。今年も実りの多いものでした。現在、WASLI は、私たちの影響力を拡大するべく、各地域をこれまで以上に育成していく必要があります。

---

## 強固な協働職のために道を固めていく：欧州の事例

---



### WASLIニュースレター12月22日(国際手話)

手話通訳は、世界中で確固たる専門職として確立されつつあります。より多くの地域で、正規の教育、訓練、継続的な専門能力開発に費用がかけられています。最近では、翻訳者や通訳者である、またはなりたという者の受け入れ、認定、正規の訓練に向けても前進しています。

ろう者と聴者の手話通訳者が合同で訓練を受けている地域もあれば、別々のプログラムや認定方法の地域もあります。共通の認識として、通訳者の経歴、聴力の状態、生活の糧とするかどうかに関係なく、この専門職が一つにまとまる必要があります。最近、ベルギーとアイルランドの2カ国は、ろう者と聴者の通訳者が別々に訓練を受けてますが、ここにおいてもチームワークに焦点を当てたワークショップが開催されました。

### ベルギー Belgium

---

ベルギー北部では、最近（2022年）、手話通訳者や翻訳者になるためのろう者の正式な訓練が始まりました。KULルーヴェン大学が主催するこのコースは1.5年制で、ろう者の学生は現在、最後の6ヶ月間のトレーニングを受けています。:

<https://www.arts.kuleuven.be/.../tolk-vlaamse-gebarentaal>

テヌート（フランドルにある手話通訳者のための継続的専門能力開発を行う組織）と共に、KULルーヴェンは、もうすぐ卒業するろう者の通訳者と聴者手話通訳者のための終日ワークショップを開催しました。

計19人のろう者の学生と16人の聴者の通訳者が参加し、丸一日かけてお互いを知り合いました。彼らは職業の定義やゲートキーピングの問題について議論し、積極的なロールプレイを行いました。この日の進行は、ろう者2名、聴者2名の教師兼通訳者が担当しました。ろう者と聴者の通訳チームワークについて通訳者の意識を高めることを主な目的として行いました。最後には、このような安全な環境での共同作業が、実際の現場での共同作業を促し、促進するという全体的なフィードバックがありました。

参加者からは、今後の課題として共同通訳の際のストラテジー、共同通訳者としてのフィードバックの仕方、よりオープンなディスカッションなどのワークショップなどが挙げられました。

ベルギー南部では、通訳・翻訳者を目指す者のための同様のトレーニングが進行中です。サンルイ大学（ブリュッセル）、ナミュール大学、トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校（エラスムスのもとで）で開催される予定です。フラマンの例を参考に、ろう者と聴者の通訳者の間に強い協力関係を構築していく予定です。

## アイルランド Ireland

---

2020年、デフ・スタディ・センター（CDS）は、ろう通訳（DI）の12ヶ月間にわたる専門能力開発（CPD）トレーニングコースを開発し、運営いたしました。このコースは、トリニティ・カレッジ・ダブリンの認定を受け、手話通訳サービスと市民情報委員会の共同出資で行われました。

### 23名の受講生が修了

コロナパンデミックの状況や12ヶ月という長い期間にもかかわらず、トレーニングは大成功でした。しかし、このコースはすべてオンラインで行われたため、ロールプレイが実際のろう・聴通訳チームの状況とは程遠いという欠点がありました。それにともない、11月にCPDトレーニングのための、さらなる資金が提供されることになり、私たちはとても喜んでいました。同僚のTracy Dalyと私は、ろう者・聴者通訳のための対面でのチーム通訳トレーニングを開発しました。

このトレーニングは重要です。というのも、対面でのろう・聴チーム通訳には、業務開始前に行うべき活動や課題があります。このような問題には、誰が最初の部分をリードするのか、どのような参加者を配置するのが最も効果的なのか、通訳が進行しているときの中断やクロストークにどのように対処するのか、ろう者・聴者チームの必要性に関する課題や疑問点にどう対応していくのか、といったことが含まれます。

このトレーニングの目的は、ロールプレイを通して、さまざまなケースを経験し、フィードバックを行い、どのように事が進んだのか、異なる対応方法があるのかについてグループで議論することによってこれらの問題意識を広めていくことです。

私は、ろう・聴通訳チームは、できるだけスムーズに対話ができるように、協力して取り組むことが重要だと考えています。2本の木が近くに立っているのを想像してください：地上では全く別の木に見えます。しかし、地中では根が絡み合い、つながり、お互いを強くしているのです。通訳者同士のコミュニケーションがうまくいけば、チームとして途切れることがなく、2本の木のように目に見えないところでつながり、お互いを支え合うことができます。

特に、ろう者・聴者通訳チームの需要が高まる中、希望者全員が参加できるよう、今後も同様のトレーニングを実施したいと考えています。

テレサ・リンチ（トリニティ・カレッジ・ダブリン、ろう者学センター助教授

イザベル・ヘイエリック博士（Tenuto vzw 副会長、トリニティ・カレッジ・ダブリン、ろう者学センター助教授

## WASLI-WFD 国際手話通訳認定 募集



WASLIとWFDは、準国際手話通訳者認定と国際手話通訳者認定の申請をまもなく開始します。2023年1月スタートです。

準国際手話通訳者認定または国際手話通訳者認定は以下の言語ペアで申請できます。

(音声/書記) 英語－国際手話 及び・または国際手話－英語

(音声/書記) スペイン語－国際手話及び・または国際手話－スペイン語

(音声/書記) フランス語－国際手話 及び・または国際手話－フランス語

フィーダー通訳者と協働するろう通訳者の場合、フィーダーが英語／スペイン語／フランス語から自国の手話に翻訳し、それを自国の手話から国際手話に翻訳することが可能です。

応募方法については、Facebook、Twitter、メーリングリストでご確認ください。

### ニュースレターに掲載希望の記事があれば

WASLIニュースレターで紹介したいことがあれば、地域代表と地域ろうアドバイザーにお知らせください。グローバルな通訳コミュニティで共有することができます。

### 理事からのクリスマスのご挨拶

